



[特集] 中学生議会

# みらい まちの将来を、 ともに考える。

今回の特集では、7月31日に谷和原庁舎議事堂で開催した、今年度の中学生議会の模様をお伝えします。市内4中学校から合わせて12人の中学生が「議員」となり、中学生ならではの視点から、日頃から感じていることやまちづくりへの提案などを行いました。

12人の中学生議員それぞれが、日常に向き合い、自分たちの言葉で紡いだまちづくりへの想い。市の将来を担う、中学生議員の「まちづくり」に対する真摯な姿勢をぜひ、ご覧ください。

## 次

代を担う中学生に、市政や議会に対する関心を深めてもらうため、市では毎年、中学生議会を開催しており、今年で10回目を迎えました。

中学生議会では、中学生自身が「議員」となり、1日限りの模擬議会を開催します。

この議会では、市内4中学校から3人ずつ、計12人の中学生議員が、日頃感じていることや、まちづくりへの提案などを、自分たちの言葉で市の執行部に投げかけます。中学生ならではの視点や実体験に基づく質問は、実際の議会さながらです。

当日は、中学生議員の中から選ばれた議長が、実際の議会と同様に進行していきます。

## こ

の日参加した12人の中学生議員たちは、少し緊張した表情で

議場に入場してきました。

午後2時ちょうど。開会を告げるブザーが議場に響きました。中学生議員たちは、議長から名前を呼ばれると、「はい」と返事をし、質問台に向かいます。議場の張りつめた空気の中、堂々とした様子で質問を終えると、市長の答弁を真剣な表情で聞き入ります。最後に答弁に対する感想を述べ、一礼し、自